

平成 25 年度学内教育 GP プログラム事業経費 成果報告書

区 分	萌芽型
事業名称	生活に新たな価値を創造するワークショップ・プログラム 総合型問題解決教育プログラム“LIDEE” (Life Innovation by Design & Engineering Education)
取組代表者名 担当者名	太田裕治（人間・環境科学科） 人間・環境科学科：松浦秀治、仲西正、大瀧雅寛、元岡展久、松田雄二、 近藤恵 人文科学科地理学コース：宮澤仁、水野勲、長谷川直子 芸術・表現行動学科舞踊教育学コース：新名謙二 情報科学科：椎尾一郎、伊藤貴之

1. 成果の概要

実施した事業の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、当初設定した目的・目標に照らし、3 ページ以内で、できるだけ分かりやすく記述すること。必要に応じ、図表を用いても構いません。

本プログラムでは、生活や環境に対し新しい価値の創造を目指す、文理融合型・問題解決型の教育を実施する。プログラム参加学生は、ワークショップを通じ、具体的かつ総合的なテーマに取り組み、イノベーションを創出するプロセスを学ぶ。すなわち、人間の生活に対する新たな価値の創造「ライフ・イノベーション」を生み出す過程（アイデアの出し方、デザイン・スキル、プレゼンテーション手法など）を修得することがねらいである。問題解決のための創造力とともに、科学的知識と表現力を有し、生活に新たな価値を生み出すプロセスに習熟した人材を育成する。

LIDEE 事業は平成 24 年度以来、東京大学 i-school、ならびに、各企業の協力のもと、学内教育 GP プログラム事業の支援を受けて実施してきている。平成 24 年度には、各回、以下の題目を設定し、全 7 回のワークショップ・プログラムを企画・実施した（お茶の水女子大学の魅力をつたえる／高齢者の外出を支援する／子どもの遊び／健康をデザインする）。

その中で顕在化した問題点として、参加者・企画担当者の多様性の低さが指摘された（具体的には、テーマ提供や参加者は人間・環境科学科に限られていた）。そのため、平成 25 年度は、他学部他学科から学生の参加を促しグループワークの多様性を担保すること、また、教員や外部講師含めて様々な分野から企画参加できるプログラムとすること、の 2 点を目標とした。平成 25 年度に実施したプログラムの全体スケジュールを下記に示す。

第 1 回 オリエンテーション・1 日ワークショップ（人間・環境科学科担当）5 月 18 日（土）13：20～16：30

第 2・3 回 「テーマ：印刷の未来（講師：高坂友理恵氏，凸版印刷株式会社）」（人間・環境科学科担当）5 月 25 日（土）13：20～16：30、ならびに、6 月 8 日（土）13：20～16：30

第 4・5 回「避難所運営ゲームの実践と考察」（地理コース担当）9 月 25 日（水）10:30～17:30

第 6 回 「スポーツを科学する」（舞踏教育学コース担当）10 月 26 日（土）13:20～16:40

第 7 回 「インフォグラフィックス（講師：木村博之氏，株式会社チューブグラフィックス代表取締役）」（情報科学科担当）11 月 16 日（土）13:20～16:30

第8回「家と家電の未来を考える（講師：大和田茂氏，（株）ソニーコンピュータサイエンス研究所）」（情報科学科担当）12月14日（土）13:20-16:30

LIDEE プログラムは、幅広い分野の学生・専門家との共同作業を通じ、分野を横断した発想力や知識を統合した問題解決能力を涵養させるプログラムである。したがって、多様な学生の参加と専門分野の多様な教員による指導が鍵となる。上述のように平成25年度は、LIDEE プログラムは、広く全学的に、人間・環境科学科、人文科学科地理コース、芸術・表現行動学科舞踊教育学コース、ならびに情報科学科の教員による共同での企画運用とした。スケジュールが示すように、平成25年度のワークショップは、4学科の協力体制のもと実行することができ、テーマの多様性は確保されたと考える。ただし、参加学生については、校内ポスターや教員 ALL メール等にて周知を行ったにもかかわらず、他学科からの参加者はわずかに留まり、今後、一層の対策が必要と考えている。

平成26年度についても LIDEE の継続実施は決定している。とくに26年度は、特別イベントとして、日経テクノルネサンス（理工系学生向けのアイデアコンテスト）を一部取り入れ実施することを決定している（大学指示に基づく）。26年度はこれまでの課題をふまえ、専門分野や学年等について、多様な学生から受講生を選抜するとともに、共同ワークショップを通じて、発想力のみならずプロジェクトの実践力や説明力も同時に習得するプログラムとしたい。現時点で具体的に決定しているスケジュールを以下に示す。

- 第1回（6月13日）『日経テクノルネサンス・ジャパン』ガイダンス
- 第2・3回（6月21日，7月5日）『大学マップを作成する』
- 第4回（7月12日）『日経テクノルネサンス・ジャパン』イノベーション講義
- 第5回（8月30日）『日経テクノルネサンス・ジャパン』中間講評会
- 第6・7回（10月～11月）『一人暮らしのデザイン』イノベーション講義

以上の報告のごとく、LIDEE ワークショップも開始後3年を迎え、企画教員側にもノウハウが蓄積され安定運営される状況を迎えている。新規科目（2単位）としても興しており、今後、本校におけるイノベーション教育の中心として機能的に運営させていきたい。また、LIDEE 実績に基づいて平成26年度に申請を行ったグローバルアントレプレナー育成促進事業の採択を祈りたい。なお、平成25年度に、本校に各種の簡便な製造設備（3Dプリンタ、NC加工機、レーザーカッターなど）が導入されている。今後はそれらの設備を生かし、もの作りをベースとする LIDEE を検討したい。それにより i.school などとは視点の異なるワークショップを企画したいと考えている。（2年度分の LIDEE 報告書（冊子体）については、人間・環境科学科 HP 上に掲出した。活動の詳細についてはそちらを参照されたい。）

2. 今後、申請を予定している競争的資金

本経費は、外部の競争的資金等を獲得するための準備経費として助成しました。今後、競争的資金の申請を予定している場合は、資金名を記入してください。

グローバルアントレプレナー育成促進事業（平成26年度，申請済み）